

中部圏域住民の皆さまへお知らせ

ごみ処理施設が 生まれ変わります

現在のごみ処理施設「ほうきリサイクルセンター」は稼働開始から約30年が経過し、設備の老朽化が著しく進んでいます。住民の皆さまのごみ処理を安定して続けられる体制を維持するため、環境エネルギーセンター（ごみ処理施設）の整備を行います。

稼働目標:令和17年度(2035年度)

新施設の整備方針

① 安心・安全を最優先とした施設

最新の技術で排ガスを徹底的に浄化します。においや煙で周辺の皆さまにご迷惑をかけない、安全で安心な施設を整備します。



② 地域に開かれた施設

環境についての学習スペースや見学コースも備え、地域の皆さまに気軽に來ていただける施設を目指します。



③ 防災にも活用できる可能性のある施設

大規模災害には、避難場所や電力供給拠点としての活用も視野に入れています。



④ 発電設備を新たに設置

ごみを燃やす熱で電気をつくります。つくった電気は施設内で使い、余った電気は売電してごみ処理費用の削減に役立てます。



⑤ CO₂の排出を抑える施設

エネルギー効率の高い新施設への更新により、地域全体のCO₂削減に貢献します。



対象5市町

倉吉市・湯梨浜町・三朝町・北栄町・琴浦町

近年のごみ処理施設はここまで変わりました。

安全・きれい・地域の役に立つ施設へ

全国の先進事例紹介

先進事例
1

武蔵野グリーンセンター

東京都武蔵野市

平成29年3月竣工 **グッドデザイン賞受賞**

住民が参加して設計し、まちに溶け込む施設

- 住民の方々が参加した話し合いで、外観や機能と一緒に決めました
- 市役所や学校のすぐ近くに建てられており、まちの中に自然にとけ込む見えた目です
- 焼却でつくった電気を、近くの公共施設に直接届けて電気代を節約しています
- 停電になっても市役所などへ電気を届けられる設備を備えており、災害時への備えも万全です



先進事例
2

今治市クリーンセンター

愛媛県今治市

平成30年3月竣工

災害時に役立つ施設

- 大きな災害が起きたときには、住民の避難場所として活用できる設備も備えています
- 市・運営会社・地元NPO・住民が毎年一緒に訓練し、いざというときへの備えを続けています



先進事例
3

佐賀市清掃工場

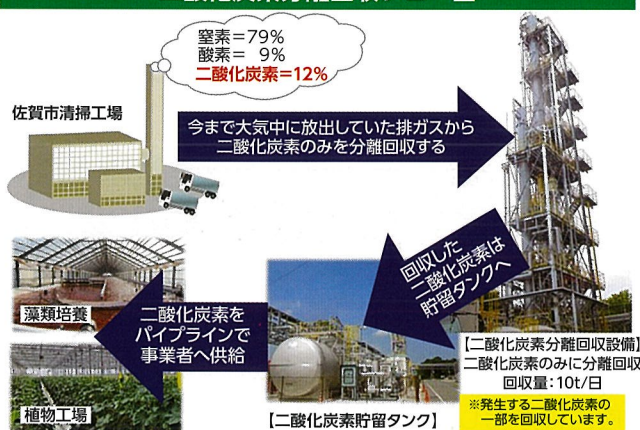
佐賀県佐賀市

平成15年竣工/以降段階的に機能を拡充

ごみ処理が地域の農業・産業を支える拠点に

- 煙突から出るCO₂を専用の装置で集め、隣の農業施設や藻の栽培施設に届けて植物の成長に役立っています
- ごみ処理施設が農業・研究・企業誘致の核になり、地域に新しい仕事と産業を生み出しています
- 大学・企業・行政が力を合わせ、若者の雇用や定住にもつながる取り組みが広がっています

二酸化炭素分離回収フロー図



令和17年度稼働に向けたスケジュール

時期	段階	内容
令和8～9年度	用地選定・建設地の決定	候補地を総合的に評価し、建設地を選びます
令和9～10年度	用地取得・基本設計	具体的な施設の規模・内容・費用を決めます
令和10～12年度	環境影響評価・実施設計	周辺環境への影響を科学的に調べます
令和13～16年度	施設整備工事	造成・建設工事を実施します
令和17年度	稼働開始	環境エネルギーセンター供用開始

鳥取中部ふるさと広域連合
事務局 環境課

〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下112番地
TEL:0858-36-1025 FAX:0858-36-1016

